



旭自治会 だより

令和6年12月1日 第83号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



12月 年の瀬

今年も納の月になりました、一年の区切りの様々なお片付けと、新しい年を迎える準備との慌ただしい、気忙しい月です、皆様お気をつけて、年末のお終いと、新年のご準備よろしくお祈りいたします。

令和6年は、元日の石川県能登地方を中心とする、大震災による年初めでした。地震とそれに伴う津波や大火事、お正月で帰省されていた方も多く犠牲になりました。改めてお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、旭町におきましては、今年一年、昨年当初のような大積雪もなく、また台風などの大きな自然災害や大事故もなく一年を納めることができますことを、自治会を支援していただき、町民の皆様、各種団体の皆様、役員各位に厚くお礼申し上げます。お陰様で自治会の計画しておりました行事も概ね予定通り実施ができ、町民の皆様と共に旭町のコミュニティ活動が今年も継続できましたこと重ねて感謝を申し上げます。今後もふるさとの手作りの活動に、ご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

今年も、「自治会だより」様々なご報告とお知らせ、ご紹介を掲載してきました。私の拙い記事にも目を向けていただき、有難うございます。毎月のご挨拶に四季折々の季節の気候や衣食住のこと雑多にご紹介をしてみました。特にここ最近の気象のことは皆様も感じられてのとおりに、極端な猛暑と寒波、日本列島は夏と冬だけかと思う変化に戸惑いが隠せません。本来は旭町の穏やかな自然環境の中で「ふるさとの歳時記」を書きたいのですが、先月も暦の上ではの表現をしておりましたが、日本の古来からの豊かな四季に基づく歳時記と異なる時代になったことが、四季を文化的に表現され、年中行事や四季の事柄を示されていた「歳時記」が、歴史と共に江戸の時代は俳句等の季語の分類を示したものが「歳時記」であったりとかしたが、今や単なる季節や食事や暮らしの行事を「歳時記」と称してきた。しかしながらこれも、日本の四季の美しさの文化的表現でした、現在の極端な季節の移り変わりには、「歳時記」も新たな書物に書き換える必要があるのかも知れません。ただ今の異常気象と言われるものの原因が、学者の言う二酸化炭素であるならば、早く現代人の英知を發揮し、人間が解決できるものであります。しかしながらこれが長い地球の歴史の自然現象であるならば、これに人間が逆らうことなく上手く合わせていくのも、日本的風流というものではないかと従いたいものです。

12月、今年も皆様方からの自治会に対しましての温かなご支援に感謝申し上げ、新年が皆様におかれまして、平和なご多幸の年になりますようお祈り申し上げます。



旭町自治会長 吉川 肇

旭町秋 FESTA2024 開催 令和6年11月3日(日)

前日大雨がふり明日はどうかと心配されていましたが、晴天の中「秋 FESTA2024」が開催されました。午前の部、舞台では、「日本舞踊 川勝流(せんしょうりゅう)」による踊り、青少年育成協議会と体育振興会の企画で「モルック」というゲームが行われました。



子どもも大人も楽しめるアウトドアスポーツで、たくさんの方々が参加され盛り上がっていました。午後最初のステージは「あさひ太鼓」の演奏です。メンバーも少しずつ増えて、迫力ある演奏が聴けました。講堂や和室には、町民の皆様作品展示、亀岡川東学園の児童・生徒の作品、

サービスセンターさくら(利用者の作品)や中本隆夫様の作品、岡工房様の木工作品など数々の作品が展示されていました。最後のステージは「心に響く歌声コンサート」が行われました。素晴らしい歌声が披露され、客席にいる方々と一緒に歌ったり、盛り上げていただきました。雨も心配されていましたが、晴天で楽しい一日が過ごせたように思います。また来年も楽しみにしています。



令和6年度 亀岡市自治振興式典～令和6年11月3日(日)～

令和6年11月3日(日)ガレリアかめおかにて「令和6年度亀岡市自治振興式典」が開催されました。市政発展のために尽力いただいた方々へ、表彰及び感謝状が贈られました。亀岡市旭町から市政功労者として4名・感謝状1団体に贈られました。

★市政功労者表彰(行政分野) ★感謝状贈呈者

- 射場 丈夫様
- 入江 勝様
- 川勝 幸平様
- 川勝 均様

・印地女性会(地域の環境美化活動)

受賞された皆様、誠におめでとうございます。これからも地域のためにご尽力賜りますよう宜しくお願いいたします。



12月行事お知らせ

- ・12月8日(日)・22日(日)・・・特別感謝デー「なごみの里あさひ」午前9時から
- ・12月11日(水) ……………エコグリーン配布 午前8時～ 旭コミュニティセンター前(旧農協倉庫)
- ・12月28日(土)29日(日)・・・年末警戒 実施
- ・12月30日(月)午後～令和7年1月5日(日) なごみの里あさひ 年末年始休業
令和7年1月6日(月) 通常営業
- ・12月27日(金)～令和7年1月6日(月)…………旭町自治会 年末年始休館

旭町 未来予想 ～こうなったらいいなあ～

亀岡市旭町の役職名簿を見ると、同じ人がいくつもの役職を兼任していることが目立ちます。とても気になり、その理由を考えてみました。

原因として考えられること

1. 人口減少

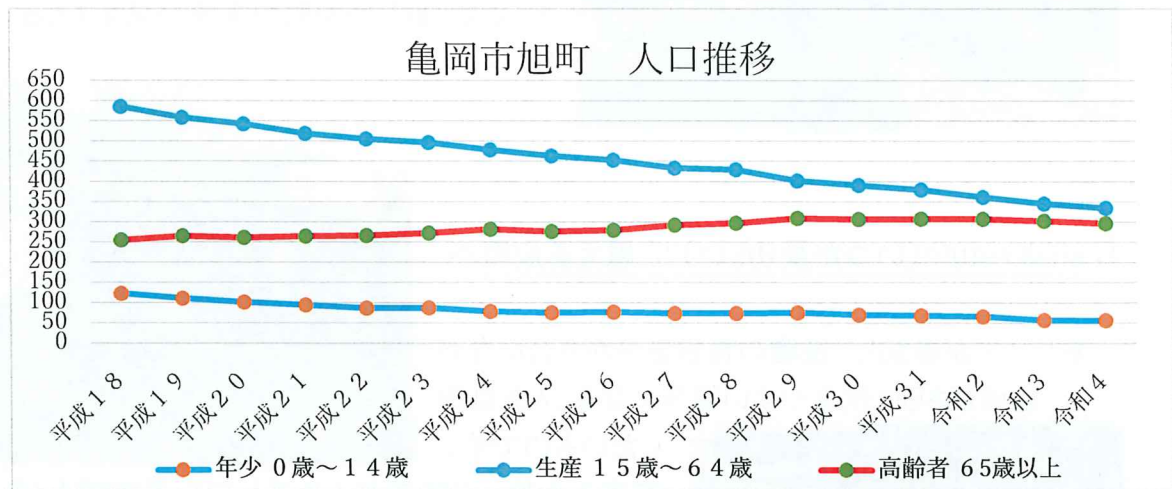
高齢の方が亡くなったり、若い人が他の地域に移住することで、対象人口が減っています。

2. 少子高齢化

高齢化率は2024年3月時点で42.2%。65歳以上の人口が285人に対して、65歳以下は390人と高齢者が多く、若者は進学や就職で町を離れることが多いです。

3. 役職の負担

働き続ける高齢者が多い中で、役職を引き受けることが負担になる場合もあり、地域活動に参加する人が限られています。



未来への提案

「もしも若者や女性が地域活動に参加できたらどうなるだろう？」

「これまで関わりのなかった人が入ることで、何か新しいアイデアが生まれるのではないかな？」



こうした視点を持つことで、これからの旭町に新しい風を吹き込むことができると考えます。

例えば、現在の役員の考えに若者や女性の視点を加えることで、古い考えと新しい考えが融合し、大きな一歩を踏み出すきっかけになるかもしれません。

目指す町の姿



亀岡市旭町には多くの団体がありますが、同じ人が複数の役職を兼任する状況では、負担が大きくなりがちです。そのため、「自分には無理だ」と感じる若者も増えてしまいま



す。しかし、旭町に「いつか戻りたい」「住んでみたい」と思う人が増える仕組みを作ることが重要です。たとえば、多くの人が関われる体制や、自由に意見を出し合える環境を整えることで、新しい旭町の未来が見えてくるでしょう。

「I shall return(いつか戻りたい)」と思える旭町へ

新しい人が参加し、役職の負担を分かち合いながら、地域がさらに住みやすい場所になることを目指



したいものです。

若者や女性、高齢者がそれぞれの立場で輝ける町を作ることが、旭町の未来を明るくする鍵ではないでしょうか。そして、「いつか戻りたい」と思ってもらえる町に・・・I shall return この言葉を忘れずにいけたらと願うばかりです。

